

## 中間まとめ骨子案（たたき台）

## 1 本調査研究の経緯

## 2 隣接地域における啓発活動の現状と課題

## (1) 隣接地域における主な啓発活動

- ・「北方領土を目で見る運動」修学旅行等誘致
- ・北方領土プロジェクト”N”（高校生Nサミットなど）
- ・北方領土まで歩こう会
- ・北方領土青少年洋上セミナー
- ・北方少年少女塾
- ・北方四島交流等事業使用船舶「えとぴりか」を利活用した洋上視察・船内研修の実施
- ・元島民の想いマップ
- ・元島民の語り部の声のデジタル保存
- ・「北方領土」隣接地域到達デジタル証明書
- ・SNS等による情報発信（隣接地域現地予習動画など）

## (2) 啓発施設の現状と課題

- ・施設、展示の状況  
(施設自体の老朽化への対応、展示方法・展示物のリニューアルやデジタル活用、複数施設間の位置付けと連携の明確化(複数施設で共通して持つべき情報発信の内容・機能と個別の施設の特徴や環境を活かした魅力づくり)、初心者にも分かりやすく・親しみやすい展示等の課題)
- ・来館者の分析(既存+新規のデータによる分析)  
(数の推移、属性、観光・旅行の目的、宿泊先、啓発施設内での動向など)
- ・啓発施設におけるイベント等の開催状況

## (参考) 観光等の状況

- ・一市四町への観光入込客数、宿泊客数
- ・観光客の主要訪問先
- ・修学旅行生の状況
- ・地域一体となった取組例
- ・一市四町内の博物館等の状況

### 3 対応策の検討の方向性

#### (1) 施設自体の老朽化への対応

- ・建物の老朽化への対応には準備・着手に時間がかかることから一部先行的・並行的に取り組む必要（建替え、補修などの検討）

#### (2) 展示等の在り方

- ・各啓発施設の特色などの明確化について検討  
（これまでの経緯や立地などを踏まえた展示などの特色・使命を確認・検討）  
（協働型プログラム評価・ロジックモデルの活用）
- ・各啓発施設間の連携強化
- ・元島民・後継者との連携強化
- ・次世代への継承（記憶の継承、活動の継承）
  
- ・展示のリニューアル  
（展示のメッセージの立て方の検討・確認）
- ・持続可能な展示の入れ替え等の仕組みの検討
- ・企画展、ワークショップの検討
- ・説明、解説の充実（ボランティアガイドの育成・活用？）
- ・デジタルアーカイブの充実  
（北方領土ストーリーテリング・アーカイブの構築など）
- ・PRの強化（アニメの活用？）

#### (3) その他の取組等

- ・一市四町への観光入込客数を伸ばす観点での取組  
（宿泊、移動の利便性向上？）
- ・一市四町への観光入込客の中で啓発施設への来館者数を伸ばす観点での取組
- ・他の観光施設等との連携強化（周遊を意識した連携？）
- ・地域との連携強化  
（地元でもっと使われるようにするには？）  
（文化的commonsの考え方？）  
（移住者、地域おこし協力隊との連携）
- ・関係人口の維持、拡大  
（ふるさと住民登録制度の活用？）  
（大学等のゼミとの交流の状況は？）

#### (参考) 施設や取組の例